

OECD（経済協力開発機構）
国際幼児教育・保育従事者調査2018
「保育の実践に関する保育者の意識」について（概要）

【目的】

各国の幼児教育・保育施設の保育者及び施設長を対象とした国際調査を通じて、日本の幼児教育・保育の実態、特色、課題について、今後の政策形成等に資する示唆を得る。

【参加国】

OECD加盟9か国(チリ・デンマーク・ドイツ・アイスランド・イスラエル・日本・韓国・ノルウェー・トルコ)

※デンマークは調査への回答率が低く結果に偏りがある可能性があるため、結果の解釈に当たっては留意が必要。

<日本における調査の概要>

【実施時期】2018年10月中旬～11月上旬

【対象】

<全国>計220園
国公立幼稚園・私立幼稚園 各40園
公立保育所・私立保育所 各40園
公立認定こども園・私立認定こども園 各30園
※3～5歳児を受け入れている園に限る
※認可外保育施設は対象外



・園長・所長
・通常業務として3～5歳児の保育を担当する保育者
(幼稚園教諭・保育士・保育教諭等)
⇒12人以下の場合は全員、13人以上の場合は無作為に8人を抽出
※非常勤、パートタイム、嘱託、短時間勤務、再任用などの保育者を含む

無作為抽出

<回答数>

幼稚園	76園	園長・所長76人	保育者522人(国公立214人/私立308人)	計216園 園長・所長216人 保育者1616人
保育所	71園	園長・所長71人	保育者541人(公立338人/私立203人)	
認定こども園	69園	園長・所長69人	保育者553人(公立285人/私立268人)	

【方法】質問紙調査(園長・所長用/保育者用)

【主な調査項目】園及び所在地域の状況・管理運営・保育者の勤務環境(勤務時間等)・保育者の養成、専門性向上(研修等)・保育実践に関する保育者の信念、意識・仕事への満足度、ストレス 等

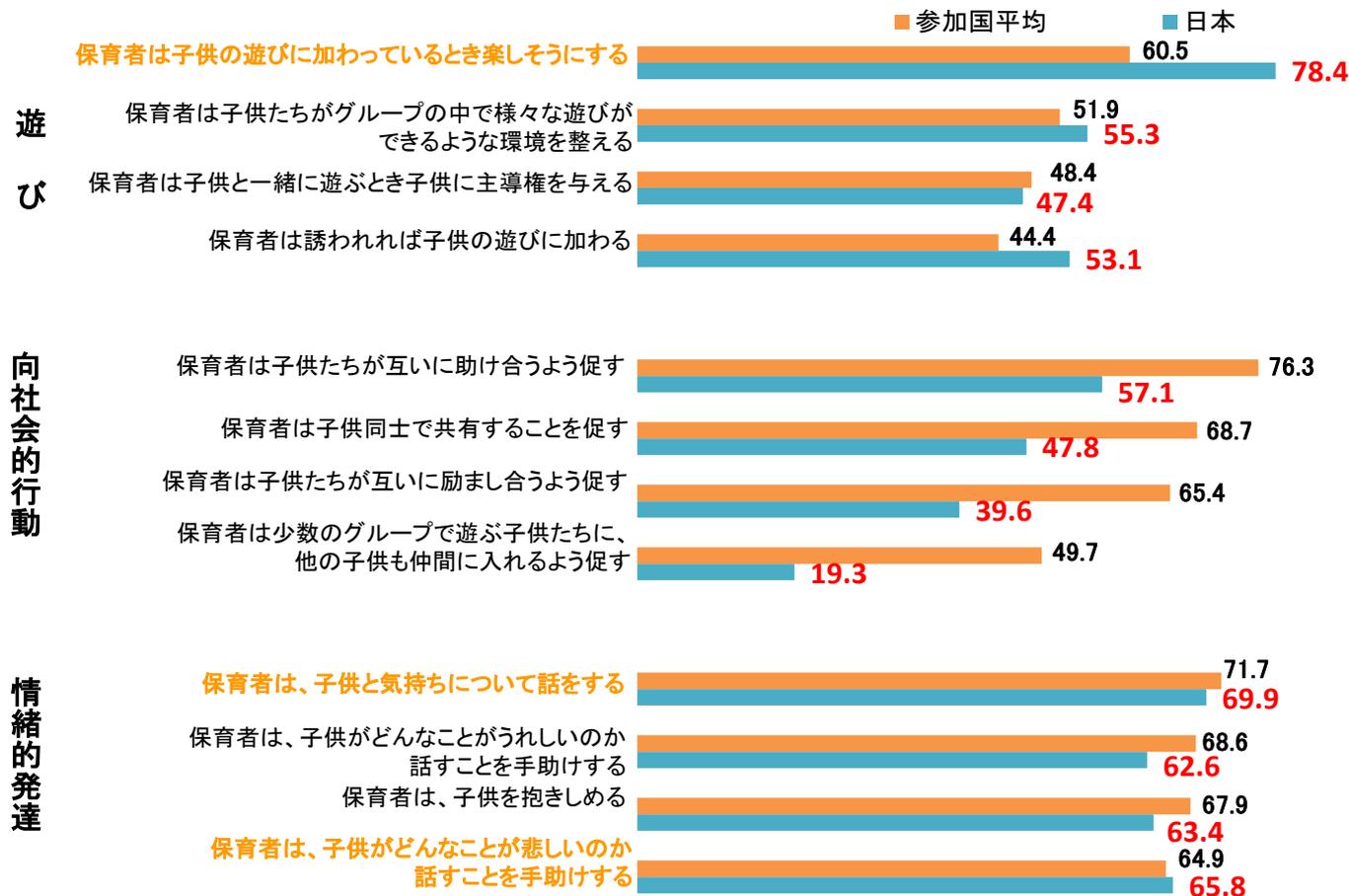
【実施体制・機関】

文部科学省・厚生労働省・内閣府と連携・協力し、国立教育政策研究所が実施

データ出所: Providing Quality Early Childhood Education and Care: Results from the Starting Strong Survey 2018(OECD, 2019)
OECD国際幼児教育・保育従事者調査2018 ―質の高い幼児教育・保育に向けて― 結果のポイント
(国立教育政策研究所HP 幼児教育研究センター センターの取組 OECD国際幼児教育・保育従事者調査)
URL: https://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/oecd.html

1-1 社会情緒的発達を支え促す保育者の実践

3～5 歳児の保育で行われている実践について、「以下のことはあなたの園の保育者にどの程度当てはまりますか。」という質問に対し、4件法(「非常によく当てはまる」「いくらか当てはまる」「ほとんど当てはまらない」「全く当てはまらない」)で回答を求めたところ、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合(%)



1-2 社会情緒的発達を支え促す保育者の実践(上位3つ)

社会情緒的発達を支え促す実践のうち、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

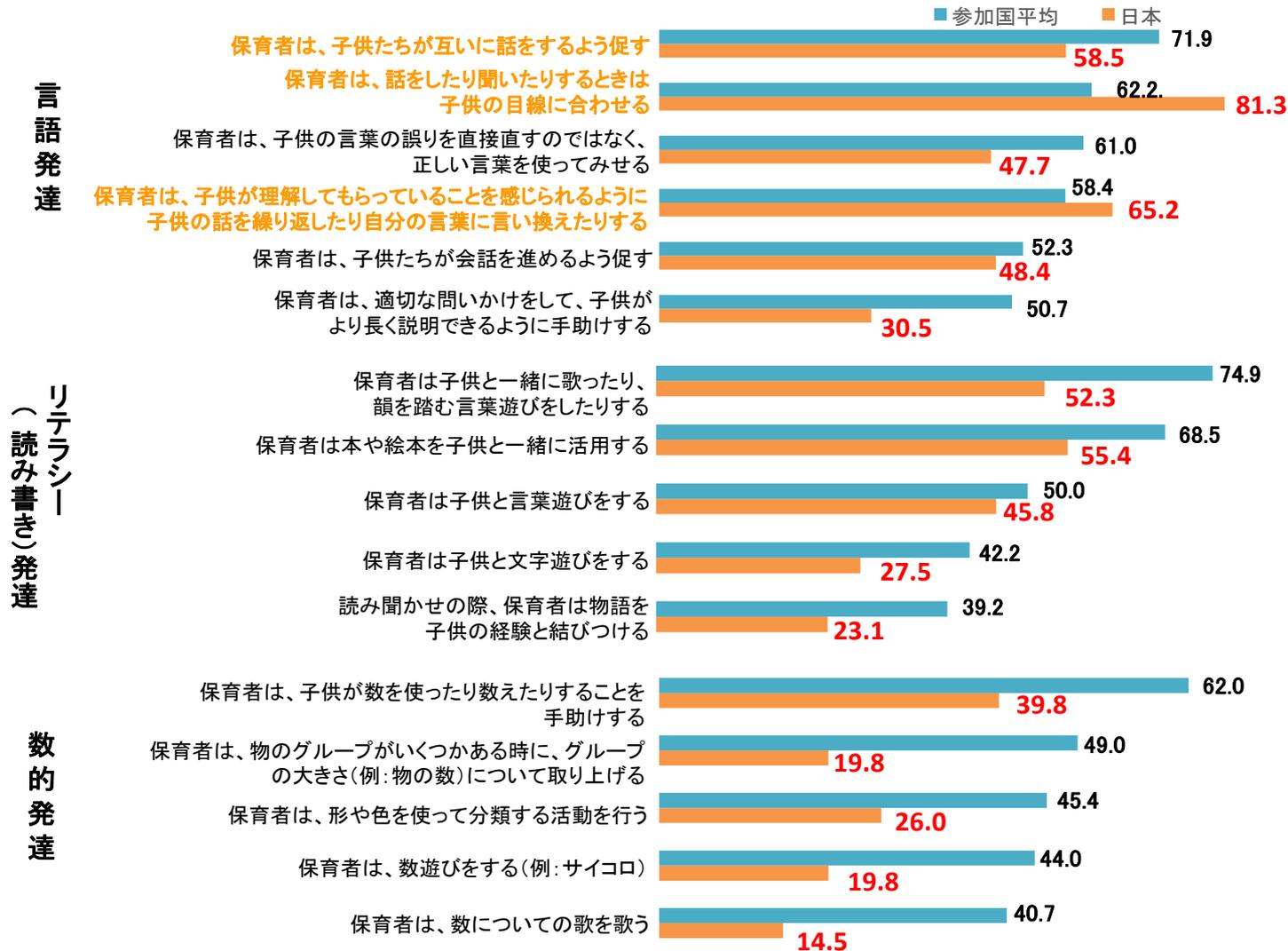
	保育者は 子供の遊 びに加わっ ているとき 楽しそうに する	保育者は 子供同士 で共有す ることを促 す	保育者は 子供たち が互いに 助け合う よう促す	保育者は 子供たち が互いに 励まし合う よう促す	保育者は 子供を抱 きしめる	保育者は 子供と気 持ちにつ いて話を する	保育者は 子供がど んなこと がうれしい のか話す ことを手 助けする	保育者は 子供がど んなこと が悲しい のか話す ことを手 助けする
チリ		2	1				3	
ドイツ**			1	2		3		
アイスランド			1	2	3			
イスラエル		2	1	3				
日本	1					2		3
韓国			3		1	2		
ノルウェー		3	1	2				
トルコ		2	1				3	
デンマーク*			1			2		3

** ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

* デンマークは、回答率が低いいため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

2-1 言語、リテラシー(読み書き)、数の発達を支え促す保育者の実践

3～5歳児の保育で行われている実践について、「以下のことはあなたの園の保育者にどの程度当てはまりますか。」という質問に対し、4件法(「非常によく当てはまる」「いくらか当てはまる」「ほとんど当てはまらない」「全く当てはまらない」)で回答を求めたところ、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合(%)



2-2 言語、リテラシー(読み書き)、数の発達を支え促す保育者の実践(上位3つ)

言語、リテラシー、数の発達を支え促す実践のうち、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	保育者は、 子供たちが 互いに話を するよう促 す	保育者は、 話をしたり 聞いたり するとき は子供の目 線に合わ せる	保育者は、 子供の話を 繰り返したり 自分の言葉に 言い換え たりする	保育者は、 子供の言葉の 誤りを直接直 すのではなく、 正しい言葉 を使ってみ せる	保育者は 本や絵本 を子供と 一緒に活 用する	保育者は 子供と一 緒に歌っ たり、韻を 踏む言葉 遊びをし たりする	保育者は、 子供が数 を使ったり 数えたりす ることを手 助けする	保育者は、 物のグルー プがいくつ かある時に、 グループの 大きさにつ いて取り上 げる
チリ					3	2	1	
ドイツ**	2				3	1		
アイスランド	3				2	1		
イスラエル	2					1	3	
日本	3	1	2					
韓国		2			3	1		
ノルウェー	2			3		1		
トルコ					2	1		3
デンマーク*	1			3		2		

** ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

* デンマークは、回答率が低いいため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

3-1 グループ(集団)の形成に関わる行動面の支援(上位3つ)

対象クラス・グループ(回答者が回答日前日までの直近の勤務日に担当した、3~5歳児を含むクラス・グループ。一日のうちに複数を担当した場合には、その日最初に担当したクラス・グループ)について、「以下のことをどれくらいの頻度で行っていますか。」という質問に対し、4件法(「いつも又はほとんどいつも」「しばしば」「時々」「なし又はほとんどなし」)で回答を求めたところ、いつも又はほとんどいつも」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	ルールを守るよう子供を手助けする	混乱したり不機嫌になったりした子供を落ち着かせる	活動を始めるとき、子供たちに静かにするように言う	他の子供たちの学びを妨げるような秩序を乱す行動に対処する	ルールを守らないとどうい結果になるのか、子供が理解できるよう手助けする
チリ	2	1	3		
ドイツ**	2	1		3	
アイスランド	2	1		3	
イスラエル	1	2			3
日本	2	1	3		
韓国	1	2			3
ノルウェー	2	1		3	
トルコ	1	2			3
デンマーク*	2	1		3	

** ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

* デンマークは、回答率が低いため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

3-2 学びや育ちを支える個に応じた支援(上位3つ)

対象クラス・グループ(回答者が回答日前日までの直近の勤務日に担当した、3~5歳児を含むクラス・グループ。一日のうちに複数を担当した場合には、その日最初に担当したクラス・グループ)について、「以下のことをどれくらいの頻度で行っていますか。」という質問に対し、4件法(「いつも又はほとんどいつも」「しばしば」「時々」「なし又はほとんどなし」)で回答を求めたところ、いつも又はほとんどいつもと回答した保育者の割合が最も高い3項目

	子供のための日々 の目標を決める	新しい活動を行うときは 子供の生活にどう関 わっているかを説明する	子供の関心に応 じて様々な活動 の場を与える	子供の発達段階 に応じて様々な活 動の場を与える	子供の能力を伸 ばすような活動を 示す
チリ	2		3		1
ドイツ**			3	2	1
アイスランド			3	2	1
イスラエル			3	2	1
日本	3		1	2	
韓国	3		1	2	
ノルウェー			1	2	3
トルコ	2	3			1
デンマーク*			3	2	1

** ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

* デンマークは、回答率が低いいため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

4-1 具体的な日常の保育場面で、 子供の向社会的行動を支えるために保育者が行う実践(上位3つ)

「2人の3歳児がそれぞれ積木遊びをしている場面を想像してください。幼児Aがほぼ全ての積木を取ってしまい、作品を作っています。幼児Bは恥ずかしがりで、少し悲しそうに見え、自分の作品を作ることに苦心しているようです。あなたならどうしますか。」という質問に対し、4件法(「必ずする」「おそらくする」「おそらくしない」「決してしない」)で回答を求めたところ、「必ずする」「おそらくする」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	二人の幼児が同じ数の積木を使えるよう、積木を二つの等しい山に分ける	幼児Bが作品を作るのを手伝う	二人で何か一緒に作るよう促す	幼児Bの気持ちに気づかせようとして、幼児Aに話をする	幼児Aに、幼児Bと分け合うよう促す
チリ			2	3	1
ドイツ**			1	3	2
アイスランド			2	3	1
イスラエル			1	3	2
日本		3		1	2
韓国			3	2	1
ノルウェー			2	3	1
トルコ			1	3	2
デンマーク*			1	3	2

** ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

* デンマークは、回答率が低いいため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

4-2 具体的な日常の保育場面の事例で、 子供主導の遊びを支えるために保育者が行う実践(上位3つ)

「5人の3歳児がそれぞれ自分が選んだ玩具で遊んでいる場面を想像してください。この時間はあなたの思うとおりのことができるとしたら、あなたはどうしますか。」という質問に対し、4件法(「必ずする」「おそらくする」「おそらくしない」「決してしない」)で回答を求めたところ、「必ずする」「おそらくする」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	子供たちに主導権を与えつつ自分も一緒に遊ぶ	子供たちを自分たちで遊ばせて、呼ばれたときだけ介入する	質問をしたり説明を加えたりして、子供たちの遊びを豊かにする	子供たちの遊びに参加するよりも、子供同士と一緒に遊ぶよう促す	新しいアイデアや素材・教材を与えて、子供たちの遊びを豊かにする
チリ	3		1		2
ドイツ**		1		3	2
アイスランド		1	2		3
イスラエル		3	1		2
日本	1		2		3
韓国	2	3			1
ノルウェー	2		3		1
トルコ		2	1		3
デンマーク*		1	2		3

** ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

* デンマークは、回答率が低いため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

5 子供が将来の人生を生き抜くために育みたい能力や技能に関する園長・所長と保育者の信念

「あなたの意見では、子供たちが将来の人生を生き抜くために、あなたの園が子供たちに以下のような能力や技能を育むことは、どの程度重要だと思いますか。」という質問に対し、3件法(「非常に重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」)で回答を求めたところ、「非常に重要」と回答した園長・所長及び保育者の割合(%)

